

『曾呂里物語』の類話

湯 浅 佳 子

日本語・日本文学分野*

要 旨

『曾呂里物語』（五卷五冊，寛文三年刊）は，近世怪異小説の源流とされる仮名草子である。本稿では，先行研究をふまえつつ，『曾呂里物語』諸話について類話をあげ，当作品の成立の背景について考える。『曾呂里物語』諸話の類話は，仮名草子，仏教説話，中世説話，縁起，浮世草子，昔話といった分野から見出せる。特に『諸国百物語』は，『曾呂里物語』に拠った作品であり，また『宿直草』についても『曾呂里物語』からの影響関係が考えられることは，先行研究に指摘が備わる。『曾呂里物語』へ影響を与えた作品については，『今昔物語集』『古今著聞集』『宇治拾遺物語』等の中世説話，『三国伝記』『因果物語』『緇白往生伝』『北野天神縁起』等の仏教説話，『武将感状記』『諸家深秘録』等の軍記や武辺話がある。『曾呂里物語』は，唱導説話を源の一としながらも奇談的性格が強調されている話が多い。また，戦国時代の武将の周辺から生まれたと思しき逸話も目に付く。

キーワード: 説話, 怪異譚, 仮名草子, 百物語

* Department of Japanese Language